16. iStorage NS の管理

16.1. 管理形態

iStorage NS は、リモートの管理 PC からネットワーク経由で稼動状態の監視、構成管理、障害監視といった管理が行えます。

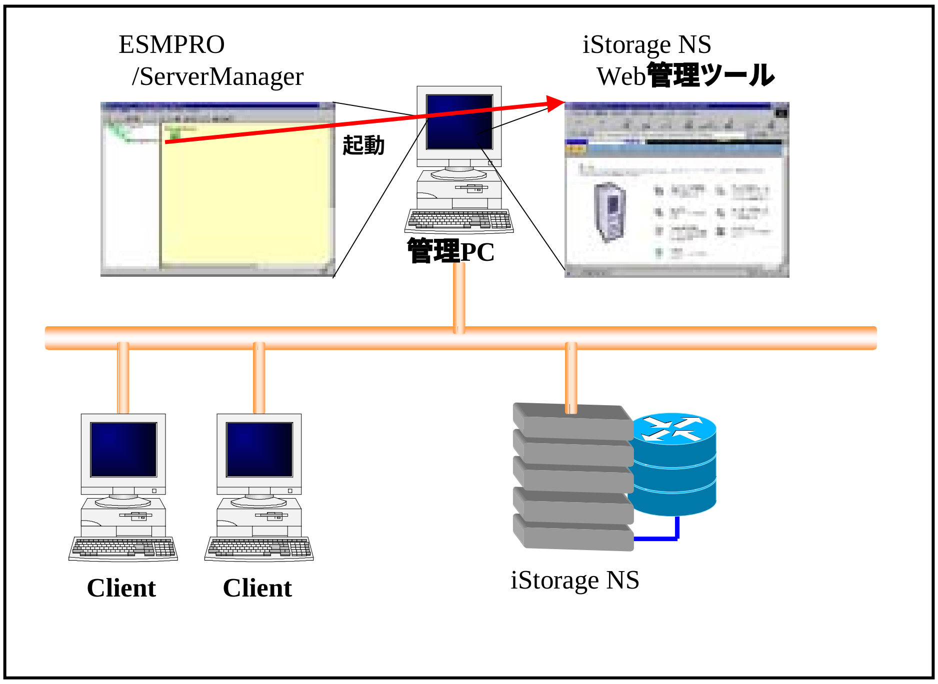


図. iStorage NS の管理

iStorage NS の管理形態として、

◆ ネットワーク上の他の Express サーバーと同様に管理する。

◆ iStorage NS 単体を管理する。

といった、二つの管理形態が考えられます。ネットワーク上の他の Express サーバーと同様に iStorage NS を管理する場合、他のサーバーの管理に使用している ESMPRO/ServerManager で管理を行います。ESMPRO/ServerManager から、稼動監視や構成管理といった管理機能を利用でき、更に iStorage NS の Web 上の管理ツールを起動することで共有等の管理も可能です。他の Express サーバーと同様に iStorage NS を管理する事で、システム全体の管理の一部として、iStorage NS の管理を組み込む事ができます。ESMPRO/ServerManager は、添付の「iStorage NS 保守・管理ツール CD-ROM」からもインストール可能です。インストールの方法、使用方法の詳細は、ユーザーズガイド、ESMPRO/ServerManager のオンラインヘルプ等を参照して下さい。

ESMPRO/ServerManager で iStorage NS を管理対象に加えるには以下の手順で行います。

① 管理 PC 上で「スタート」—>「プログラム」—>「ESMPRO」—>「統合ビューワ」を起動する。

② 「ツール」—>「自動発見」—>「手動起動」—>「TCP/IP ホストの発見」を選択

③ 「アドレス指定」で iStorage NS が属しているネットワークアドレスの範囲を指定して、自動発見を開始する。

④ iStorage NS が発見され、アイコンが表示される。

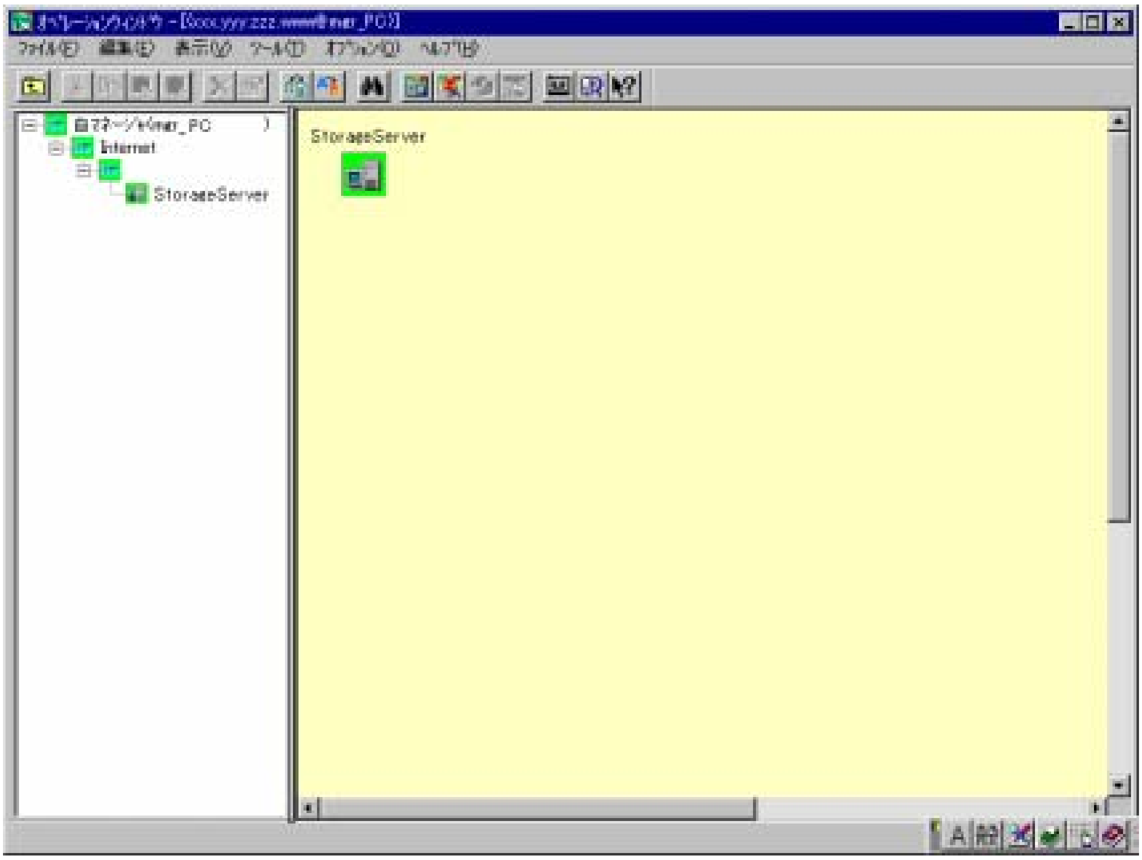


図. ESMPRO／ServerManager 統合ビューワ

また、ESMPRO／ServerManager（「iStorage NS 保守・管理ツール CD-ROM」内のもの）で WebUI(iStorage NS 管理ツール)を起動するには、以下の手順で行います。

① 管理 PC 上の統合ビューワで、画面左のツリーにある iStorage NS のアイコンを選択して右クリック

② 「WebUI」メニューを選択

③ 管理ツールが起動する。

一方、他のサーバーとは別に iStorage NS 単体を管理する形態もあります。こちらは、iStorege NS の管理用の PC 上でスタートメニューから ESMPRO／ServerManager を起動して稼動監視、構成管理などを行い、また 3.3 節で説明した方法で Web 上の iStorage NS 管理ツール(WebUI)を起動して共有の管理を行います。ESMPRO／ServerManager と iStorage NS 管理ツール(WebUI)は、同一の PC 上にある必要

はありません。稼動監視、構成管理等を行う管理 PC と共有の設定・管理等を行う管理 PC が別々の PC という形態も可能です。各管理を行うには以下の手順で行います。

① 管理 PC 上で「スタート」－>「プログラム」－>「ESMPRO」－>「統合ビューワ」を起動して稼動監視、構成管理等を行う。

② 管理 PC 上で「スタート」－>「プログラム」－>「Internet Explorer」等でインターネットエクスプローラを起動し、共有の管理等を行う。（3.3 節参照）

16.2. 運用中の監視

ESMPRO での監視

定常的に ESMPRO／ServerManager により iStorage NS の状態を監視してください。

iStorage NS の状態

WebUI を使用するときはサーバー名の下の[状態] 領域に注意してください。

表示には、次の 4 種類があります。

[正常] (緑色の文字)

[情報あり] (灰色の文字)

[警告] (黄色の文字)

[異常] (赤色の文字)

[警告]や[異常]のときは状態ページを参照して下さい。

WebUI での状態の表示

プライマリナビゲーションバーから「状態」を選択することで、iStorage NS での状態を表示できます。左側に警告や異常を知らせるページが、右側に使用中の共有の状態が表示されます。各メッセージをクリックすることで、詳細情報を表示します。

> WebUI に「状態：情報あり」と表示し、以下のメッセージを表示することがありますが、動作には影響ありませんので、「メッセージの消去」を行ってください。
>
> ―i8042prt ドライバを読み込むことができませんでした（キーボードおよび PS/2 マウスが接続されていない可能性があります）
>
> ―次のブート開始ドライバまたはシステム開始ドライバを読み込むことができませんでした：i8042prt

通知電子メール

警告発生時に、管理者に電子メールを発信して知らせることが出来ます。プライマリナビゲーションバーから「メンテナンス」－「通知電子メール」を選択して設定を行います。「宛先」にメールを送信したい iStorage NS の管理者のメールアドレスを指定します。また、SMTP ゲートウェイサーバーが必要な電子メールをご利用の場合は、SMTP ゲートウェイサーバー名または IP アドレスを入力します。SMTP サー

バーについては、メールシステムの管理者にお問い合わせください。

<u>Telnet</u>

「ネットワーク」—「Telnet」で iStorage NS に Telnet で接続させるかどうかを設定できます。ただし、Telnet 接続することは可能ですが、保守目的以外で iStorage NS 上でプログラムを動作させることはできません。ご注意ください。

<u>その他</u>

DISK 装置のランプ等が異常を示していないかに注意してください。

16.3. トラブルシューティング

16.3.1 ESMPRO/ServerManager での異常箇所の特定

ESMPRO/ServerManager 上で iStorage NS を監視している際に、iStorage NS を示すアイコンが[警告]（黄色）や[異常]（赤色）を示した場合、iStorage NS 上の部品が故障した可能性が有ります。この場合、以下の手順でどの部分に異常・警告が発生しているかを特定し、対処を行って下さい。

① ESMPRO/ServerManager のウィンドウで、左側のツリー構造上の対応する iStorage NS を示すアイコンを右クリックする。

② メニューから「データビューワ」を選択する。

③ データビューワのウィンドウで、異常･警告の出ているアイコンを探し、その発生箇所を特定する。

④ 各構成情報のツリーを開いていく事で、その部品の詳細情報を見る事ができる。

Ex.「ストレージ」—「ハードディスク」—「[1]ハードディスク」—「xx 情報」等を見る事で、このハードディスクの詳細な情報が表示されます。

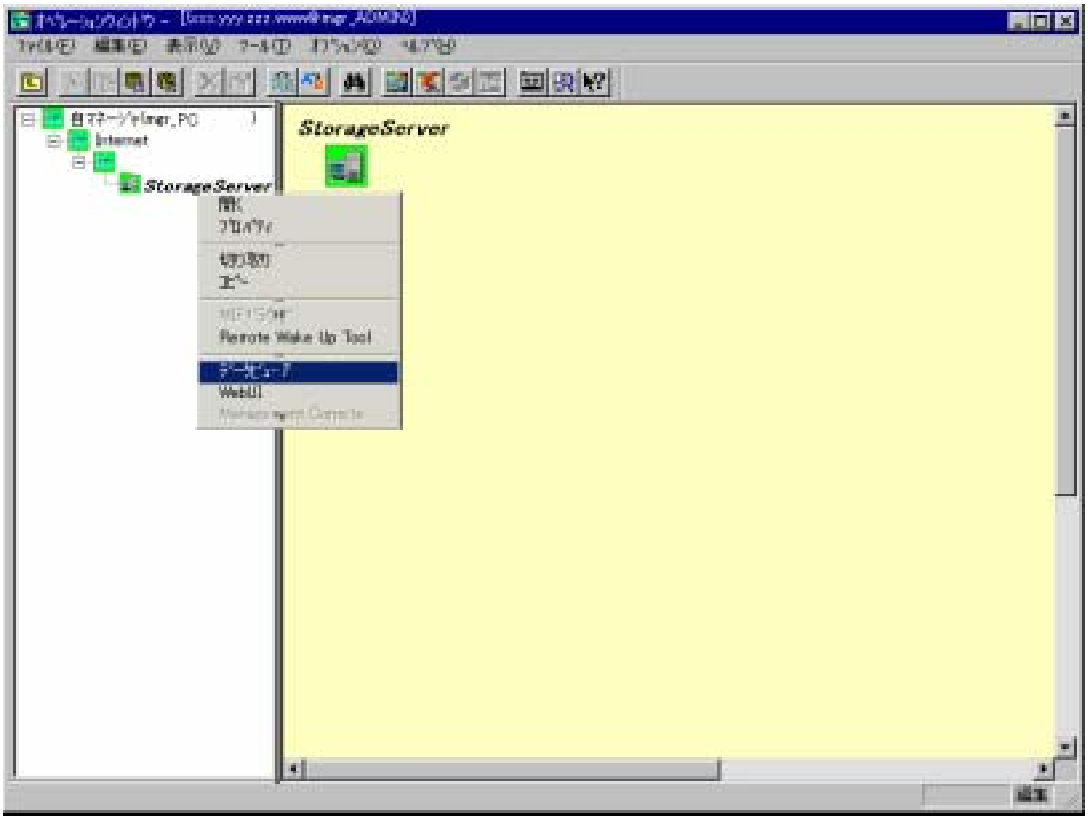


図. データビューワ起動

詳細は、ESMPRO/ServerManager のヘルプを参照して下さい。ESMPRO/ServerManager のヘルプはインストールした管理用 PC の「スタート」メニューから「ESMPRO」を選んで表示されるメニューから「ESMPRO/SM」や「データビューワ」のヘルプを選択して下さい。

16.3.2 iStorage NS の出力するログの参照

iStorage NS の運用中、ソフトウェアが警告やエラー情報等のメッセージを出力する事があります。ログには、

- アプリケーションログ
- システムログ
- セキュリティログ
- Web 管理ログ
- NFS ログ
- Web(HTTP)共有ログ
- FTP ログ

があります。各ログの参照は、以下の手順で行います。

① プライマリナビゲーションバーから、「メンテナンス」を選択

②「メンテナンス」ページで「ログ」を選択

③「ログ」ページで参照したいログ選択することで、iStorage NS が出力する各ログが表示される。

> 📖 ログファイルの表示には重要な CPU リソースを使用することなりますので、ログを頻繁に表示しないでください。WebUI のターミナルサービスを使って iStorage NS に接続後、[スタート ― プログラム ― Administrative Tools ― Computer Management]を起動して、[イベントビューア]を選択し、確認されることをお勧めします。

16.4. 注意事項

iStorage NS を導入・運用するにあたり、いくつかの注意事項があります。本書の各章内にも関連項目の注意事項を記述しています。あわせてご注意ください。

1) 「メンテナンス」―「ソフトウェア更新」のメニューは、今後強化される予定の機能であり、本バージョンでは指定があるまでご利用にならないで下さい。

2) 管理 PC にプリンタドライバが組み込まれている場合、WebUI で iStorage NS に接続するとプリンタ関連のエラーが iStorage NS のイベントログに出力されますが、これは動作上問題はありません。

3) WebUI のターミナルサービスを使って iStorage NS に接続すると、iStorage NS は最初に接続したクライアントのキーボード（例えば、106 日本語キーボードなど）を記憶します。このため、異なるキーボード（例えば、NEC PC9800 シリーズキーボードなど）を持つクライアントから接続すると正しくキー入力ができない場合があります。このような場合は iStorage NS を再起動後に接続してください。

4) [ネットワーク― 管理 Web サイト ― 管理サイトプロパティ]にて、「この IP アドレスのみ」を選択時に、選択可能となるドロップダウンリストボックスに同一アドレスが表示されることがありますが、どれを選んだ場合も正しく設定されます。

5) サーバーアプライアンス名を変更し、再起動すると、WebUI は自動的にそのサーバーへ再接続します。WebUI は、サーバーアプライアンスの古い名前を使用して、接続します (ほとんどのネットワークでは、古い名前を使って、サーバーアプライアンスの IP アドレスを解決します)。この場合、古い名前は、状態バーに反映されています。ユーザーはブラウザウィンドウを閉じ、サーバーアプライアンスの新規名で再接続する必要があります(<http ://<new machine name>[:<administrator port number>]>)。サーバーアプライアンス名を変更する際は WebUI を<http ://<server IP address>[:<administrator port number>]> で接続してから変更することをお勧めします。

6) サーバーアプライアンス名の変更により、WebUI で［ログオン情報は正しくありません(80070002)］のエラーメッセージが表示されることがあります。このエラーが発生した場合、いかなる情報もそのサーバーに送られてないので、名前の変更が有効になっていません。現在のブラウザセッションを閉じ、サーバーアプライアンスを再接続し、再び名前を変更します。

17. 再インストール

iStorage NS の再インストール手順の概要は次のようになります。

1　再インストールのための準備 (本書 17.1 節)

2　「Network Attached Storage CD- ROM 」を用いたインストール（本書 17.2 節）

3　iStorage NS の起動　（本書 17.3 節）

4　確認と設定（本書 17.4 節）

再インストール手順は iStorage NS シリーズのモデルにより若干異なります。以下の表の ○ の付いた項目がそのモデルで必要な手順です。表に従って処理を進めて下さい。また、各装置添付のユーザーズガイドもご参照ください。

再インストールを行うとハードディスク上のデータは全て削除されます。再インストール作業の前に、必要なデータをバックアップして下さい。システム復旧のためのバックアップの方法に関しては、管理者ガイドが掲載されたホームページ上で共に公開するシステム復旧手順書と BackupExec または NetBackup のマニュアル類を参照して行ってください。

同じネットワーク内で複数の iStorage NS サーバーを再インストールする必要がある場合でも、１台ずつ行ってください。

モデル	iStorage NS20/20P	iStorage NS400/400P	iStorage NS600	iStorage NS800
ユーザーデータ／システム状態をバックアップする。	○	○	○	○
オプションボード をはずす	○	○	○	○
17.1.1 ディスクアレイの再構成	–	○	○	○
17.1.2　FDISK による内蔵ハードディスクのイニシャライズ	○	–	–	–
17.2「Network Attached Storage CD- ROM」を用いたインストール	○	○	○	○
17.3 iStorage NS の起動	○	○	○	○

17.4.1 デバイスマネージャでの確認 ～SCSI/RAID ドライバの更新～	－	○	○	○
17.4.2 デバイスマネージャでの確認 ～DVD/CD- ROM ドライバの更新～	○	○	○	○
17.4.3 デバイスマネージャでの確認 ～不明なデバイスドライバの更新～	○	－	－	○
17.4.4 ディスク管理での確認 ～ドライブ文字の変更～	○	○	○	○
17.4.5 OS のミラーリング機能の設定	○	－	－	－
オプションボードを戻し、ハードウェア構成をバックアップ時の状態に戻す。	○	○	○	○
必要であればバックアップデータをリストアする	○	○	○	○

17.1. 再インストールのための準備

RAID EzAssist 及び保守管理ツール CD-ROM の操作、BIOS の確認・設定は管理 PC から MWA を起動して行います。あらかじめ、MWA によりサーバーと接続ができることを確認してください。サーバーとの接続は LAN 接続または COM 接続のいずれの方法でもご利用になれます。ただし、LAN 接続の場合は、**NS20/20P** では LAN ポート０のみ、**NS400/400P/600** では本体内蔵 LAN ポート１のみ、**NS800** では本体内蔵 LAN ポートのみ使用可能です。COM 接続の場合は COM2 ポートのみご使用になれます。MWA の使用方法に関しては、ユーザーズガイドの第４章を参照してください。

オプションボードを使用している場合はとりはずして工場出荷時の状態に戻して下さい。

17.1.1. ディスクアレイの再構築

iStorage NS20/20P では、本処理は必要ありません。

iStorage NS400/400P/600/800 では、以下の手順に従います。

iStorage NS400/400P で出荷時アレイ構成を変更されていない場合は、本処理は不要です。Network Attached Storage CD- ROM を用いたインストールの節に進んでください。

iStorage NS400/400P でアレイ構成を出荷時から変更されている場合および NS600/800 **の場合**は、OS の再インストール前に、ディスクアレイコントローラ配下のハードディスクの接続構成を出荷時の状態(NS400/400P/800 の場合)、あるいは指定のディスク構成(NS600 の場合、**下記参照**)に戻し、保守・管理ツール CD-ROM に含まれる[ディスクアレイコンフィグレーション]を使用して出荷時のアレイ構成にする必要があります。このため、出荷時構成にする前に RAID EzAssist によるコンフィグレーション情報のバックアップを行ってください。OS の再インストール後にその情報をリストアすることで、アレイ構成をバックアップ時の状態に再構築できます。RAID EzAssist の操作については、ユーザーズガイドを参照してください。

指定のディスク構成（NS600 の場合）：

標準で Mylex ディスクアレイコントローラが 2 枚接続されています。出荷時には、コントローラ 1 のチャネル 0 に内蔵ディスクベイの 2 台のハードディスク（SCSI ID 0、1）が接続され、コントローラ 2 のチャネル 0 に 3 台（SCSI ID 8、9、10）のハードディスクが接続されています。アレイ構成を出荷時の状態から変更している場合は、OS の再インストールを行う前に、外付け増設筐体およびコントローラ 2 に接続されているハードディスクをすべて外してください。つまり、内蔵ディスクベイの SCSI ID 0 と 1 にのみハードディスクが接続されている状態で再インストールを行ってください。

まず、RAID EzAssist によるコンフィグレーション情報のバックアップを行い、ディスクアレイコントローラ配下のハードディスク接続構成を工場出荷時(**NS400/400P/800**)、あるいは指定のディスク構成(**NS600**)に戻してください。その後、以下の手順に従い、保守・管理ツール CD-ROM の[ディスクアレイコンフィグレーション]を使用して、再インストールする前にアレイ構成を工場出荷時の状態に戻してください。

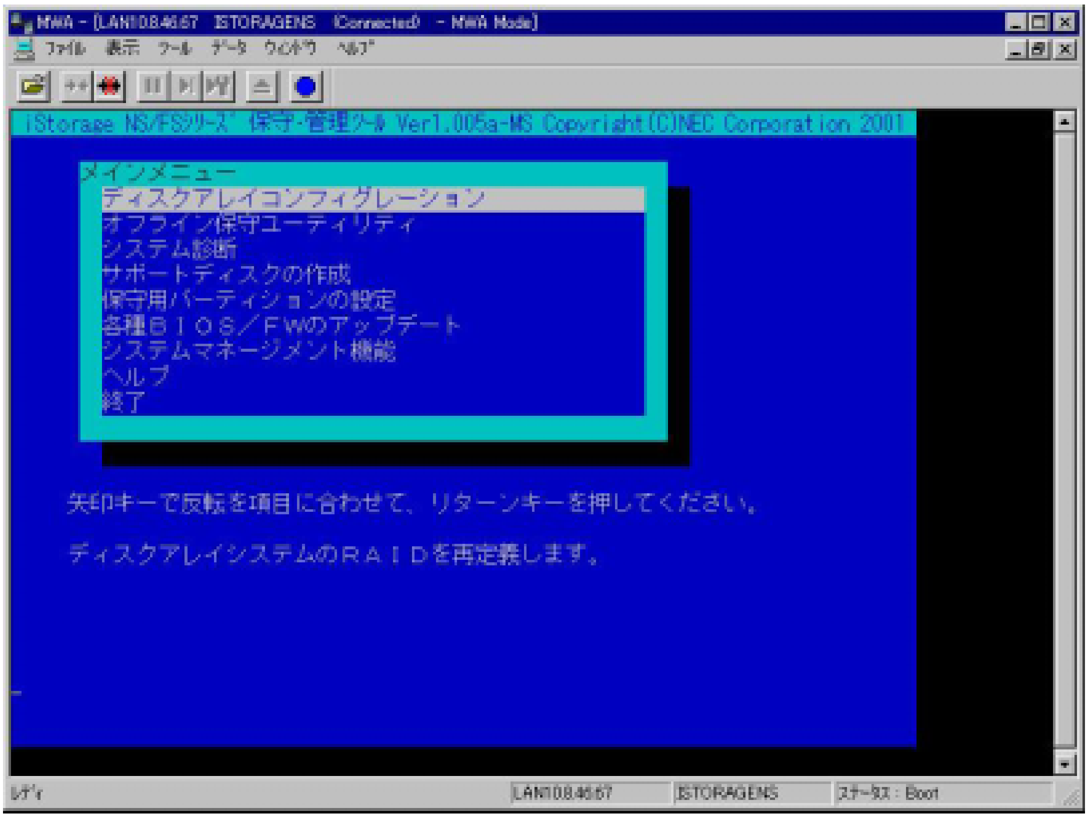
以下は、**NS400** での手順です。(**NS400P/600**、**NS800** での手順は後述しています。)

① 管理ＰＣからＭＷＡを起動し、iStorageNS サーバーに接続します。

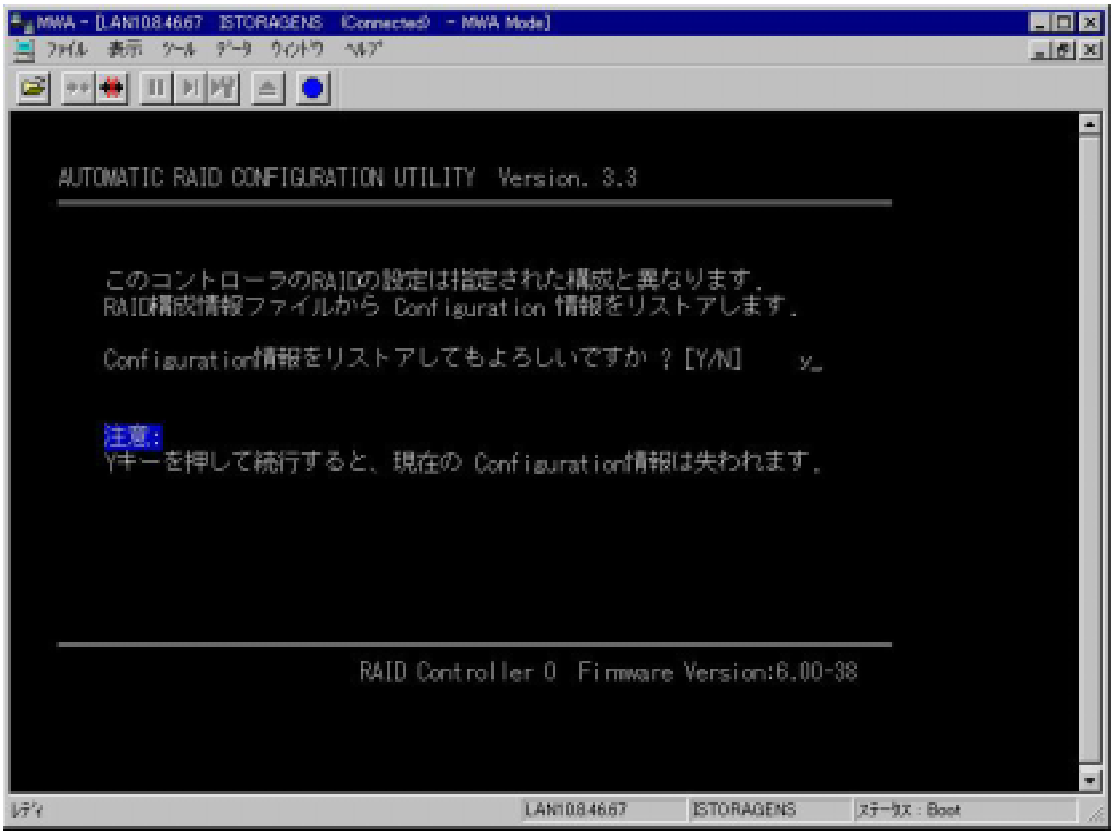
② サーバーの電源をＯＮし、CD-ROM ドライブに保守・管理ツール CD-ROM をセットします。

注意） POST 中に、ビープ音が鳴り、システムドライブがオフラインになっているとメッセージが表示されますが、RAID EzAssist を起動せずにそのまま進んでください。

③ メインメニュー画面が表示されたら、[ディスクアレイコンフィグレーション]を選択して Enter キーを押します。



④　以下の画面が表示されたら、Y を入力し、Enter キーを押します。



⑤　コンフィグレーション情報のリストアが終了すると自動的にリブートします。再度、保守・管理ツール CD-ROM のメインメニュー画面が表示されたら、終了を選択します。

⑥　以下のメッセージが表示されたら、保守・管理ツール CD-ROM を取り出し、サーバーの電源をＯＦＦします。ＦＤドライブにディスクがあれば取り出します。



以下は、**NS400P/600** での手順です。(**NS400** での手順は前述しています。**NS800** での手順は後述します。)

①　管理ＰＣ からＭＷＡ を起動し、iStorageNS サーバーに接続する。

②　サーバーの電源をＯＮ し、CD- ROM ドライブに保守・管理ツールCD- ROM をセットする。

③　メインメニュー画面が表示されたら、[ディスクアレイコンフィグレーション] を選択してEnter キーを押す。

④　[Configuration 情報をリストアする必要はありません] というメッセージが表示された場合は Enter キーを押す。[Configuration 情報をリストアしてもよろしいですか？[Y/N]] というメッセージが表示された場合は、Ｙ と入力しEnter キーを押す。

ディスクアレイコンフィグレーションの設定が終了し、メインメニュー画面に戻ります。

> [装置本体の電源を0FF してＨＷ （ハードウェア）構成を確認してください] または [Mylex コントローラ1 に物理ディスクが接続されています。指定の構成に戻してください] というメッセージが表示された場合は、本体装置の電源を0FF にし、Mylex ディスクアレイコントローラ配下のハードディスク構成が工場出荷時の構成(NS400/400P/800)、あるいは指定のディスク構成(NS600)と同じかどうかを確認してください。確認後、再度、手順１ からやり直してください。

⑤　出荷時のパック（SCSI ID 0 〜2 に接続されたハードディスクで構成）に対してExpand Array を行っていた場合(NS400 のみサポート)は手順6 へ、そうでない場合はメニューを終了して「［NetworkAttached Storage CD- ROM ］を用いたインストールに進む。

⑥　［FDISK の起動］を選択してFDISK ユーティリティを起動し、システムドライブのパーティションをすべて削除する。すべてのパーティションを削除するには、FDISK のメニューより［A ］ Delete all partitions ］を選択します。

⑦　パーティションの削除後、FDISK オプションを終了し、サーバーをリブートする。

⑧　メインメニューに戻ったら、[保守用パーティションの設定] を選択する。

⑨　画面表示に従って「保守用パーティションの作成」または「各種ユーティリティのインストール」を選択する。保守用パーティションについては、ユーザーズガイドの４章にある保守管理ツールの節を参照してください。

⑩　保守用パーティションの作成が終了し、再度メインメニューが表示されたら終了を選択する。「本体装置の電源を切っても問題ありません」と表示されますので、保守管理ツールCD- ROM を取り出し、電源をOFF してください。

以下は、**NS800** での手順です。**(NS400**、**NS400P/600** での手順は前述しています。**)**

①　管理 PC で MWA を起動し、iStorage サーバーと接続する。

②　サーバーの電源を ON にし、CD- ROM ドライブに「保守・管理ツール CD- ROM 」をセットする。

③　メインメニュー画面が表示されたら、[ディスクアレイコンフィグレーション] を選択する。

④　[Configuration 情報をリストアする必要はありません] と表示された場合は[Enter] キーを押す。「Configuration 情報をリストアしてもよろしいですか？[Y/N] 」と表示された場合は、<Y>と入力し<Enter>キーを押す。

⑤　メインメニュー画面に戻ったら、[FDISK の起動] を選択して、FDISK ユーティリティを起動し、システムドライブのパーティションをすべて（保守用パーティション、Ｃ ドライブ）削除する。すべてのパーティションを削除するには、FDISK のメニューより[A]Delete all partitions] を選択してください。

⑥　FDISK オプションを終了し、サーバーをリブートする。

⑦　メインメニュー画面が表示されたら、[保守用パーティションの設定] を選択する。

⑧　画面表示にしたがって[保守用パーティションの作成] もしくは[各種ユーティリティのインストール] を選択する。保守用パーティションについては、ユーザーズガイドの４章にある保守管理ツールの節を参照してください。

⑨　再度メインメニューが表示されたら[終了] を選択する。

⑩　「本体装置の電源を切っても問題ありません」と表示されたら、サーバーの電源を OFF にするか、

CD-ROM を[Network Attached Storage CD- ROM] に入れ替えて引き続きインストールを開始する。

17.1.2.　FDISK による内蔵ハードディスクのイニシャライズ

iStorage NS400/400P/600/800 では、本処理は必要ありません。

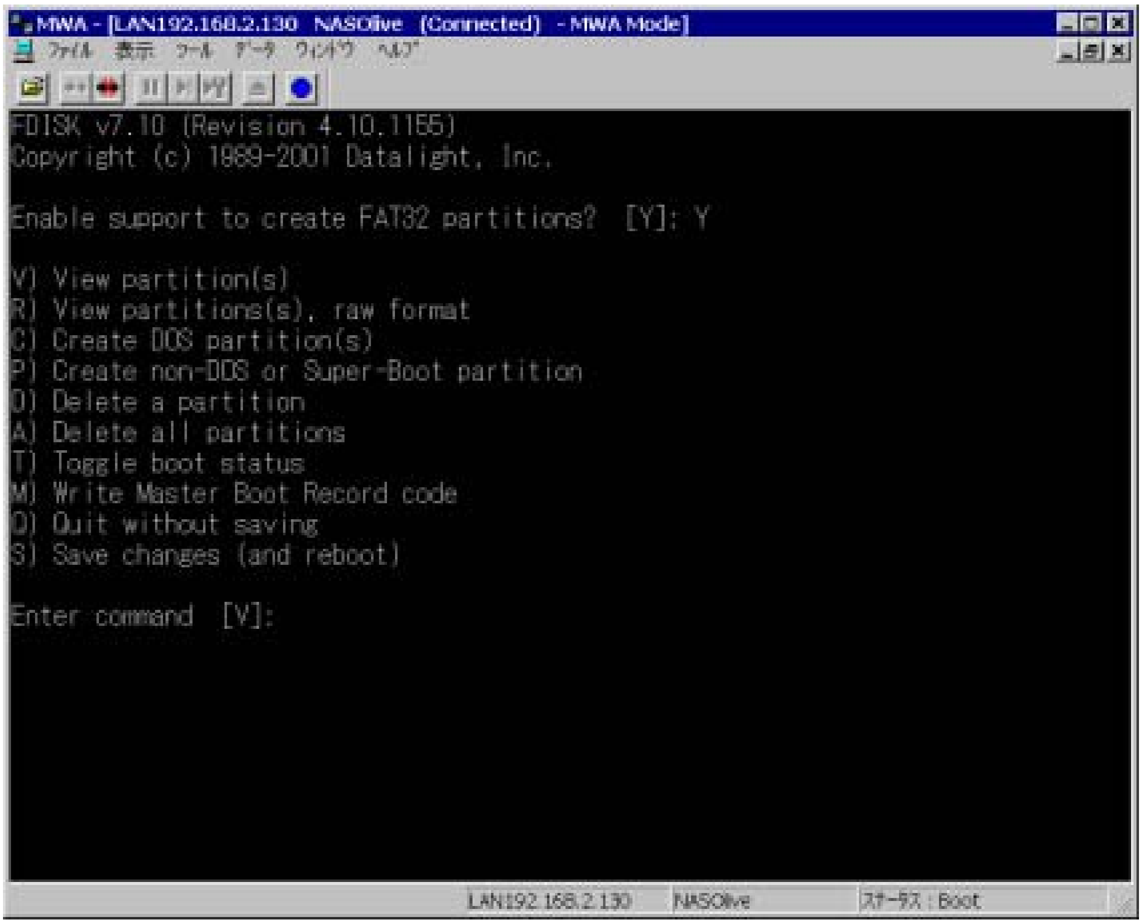
iStorage NS20/20P では、以下の処理を行ってください。

① 管理 PC で MWA を起動し、iStorage NS と接続します。

② iStorage NS の電源をＯＮにし、CD-ROM ドライブに[保守・管理ツール CD-ROM]をセットします。LAN 接続による操作の場合、MWA にて作成したコンフィグレーションファイルを保存した FD もセットします。詳細はユーザーズガイド４章を参照してください。

③ MWA にメインメニューが表示されます。[FDISK の起動]を選択して Enter キーを押し、[Enable support to create FAT32 partitions? [Y]:]表示されるので、Y またはＮキーを押します。

④ 以下の画面のようにメニューが表示されます。Ａキーを押し、[A）Delete all partitions]を選択します。[Delete all partitions for which drive(1-2) [1]:]とメッセージが表示されたら、キーボードの１を押します。



⑤ ディスク１の情報と、[Are you sure you want to delete?]とメッセージが表示されたらＹキーを押します。これでディスク１のパーテションがすべて削除されます。

⑥　削除されたら（[Partition(s) deleted]と表示されます）、ESC キーを押してメニューに戻ります。

⑦　ディスク２のパーテションを削除するため、Ａキーを押し、[Ａ）Delete all partitions]を選択します。

⑧　[Delete all partitions for which drive(1-2) [1]:]とメッセージが表示されたら、キーボードの２を押します。ディスク 2 の情報と、[Are you sure you want to delete?]とメッセージが表示されたらＹキーを押します。削除後、ESC キーでメニューに戻ります。

⑨　すべてのパーティションが削除されたかを確認します。Ｖキーを押して[View partition(s)]を選択します。[Fixed Disk 1 of 2]と[Fixed Disk 2 of 2]のいずれも[No partitions]になっていれば削除は正常に行われています。ESC キーでメニューに戻り、Ｓキーを押します。[Changes saved. Press any key to reboot…]と表示されたら、何かキーを押して終了します。

⑩　保守・管理ツール CD-ROM を取り出し、iStorage NS の電源を OFF します。（FD がある場合は取り出してください。）

⑪　LAN 接続の場合、以下の方法で MWA モードを解除します。

- サーバーウィンドゥの上で右クリックし、コンテキストメニューの[リモートコンソールの動作指定]をクリックします。
- [MWA モードで実行]のチェックを外し、[なし]を有効にしてください。

17.2. 「Network Attached Storage CD- ROM」を用いたインストール

再インストールには、添付の「Network Attached Storage CD- ROM 」を使います。

①　iStorage NS のフロッピーディスクドライブから設定ディスクを取り出します。

②　ユーザーズガイドの 2 章「BIOS 設定の注意点」を参照し、ブートデバイスを以下の順番であることを確認します。

1. ATAPI CD- ROM Drive
2. Hard Drive
3. Diskette Drive（または、Removable Devices）

また、[Advanced]-[Advanced]-[Installed OS]：[PnP O/S]であることを確認します。

③　**NS20/20P の場合**は、MWA のプロパティの［アラート通知］タブのリセットのチェックをはずしてから接続を終了し、その後に MWA を終了します。（**NS400/400P/600/800 の場合**は不要）

④　添付の「Network Attached Storage CD- ROM 」を iStorage NS の CD- ROM ドライブにセットし、BIOS 設定画面を終了します。

⑤　CD- ROM から自動的に起動して、Network Attached Storage ソフトウェアが iStorage NS にインストールされます。インストールを正常に終了すると断続的なパターンでビープ音が鳴ります。異常終了した時は連続的にビープ音が鳴ります。

⑥ CD- ROM ドライブから CD- ROM を取り出す。

⑦ iStorage NS の電源を OFF にする。

⑧ POWER ランプが消灯したことを確認してください。2 ～3 分しても POWER ランプが消灯しない場合は、強制電源 OFF （POWER スイッチを 4 秒ほど押し続ける）をしてください（強制電源 OFF についてはユーザーズガイド 1 章の「強制電源 OFF 」を参照してください）。

17.3. iStorage NS の起動

これで再インストールは完了です。**NS20/20P の場合**、再度 iStorage NS の電源を ON にする前に、iStorage NS のフロッピーディスクドライブに設定ディスクをセットしてください。3 章「システムのセットアップ」を参照してください。

NS20/20P の場合は設定ディスクをセットし、**NS400/400P/600/800 の場合**はそのままで、iStorage NS の電源を ON にしてください。初回起動が完了（断続的なビープ音が鳴る）したら、以下の手順に従ってください。**NS400/400P/600/800 の場合**、サーバーの電源 ON 後、初期設定ツールを使用してコンピュータ名、IP アドレスなどを設定します。設定は 3 章「システムのセットアップ」を参照してください。

アレイ構成を出荷時の状態のままご使用いただく場合は、これで終了です。17.4 節の「確認と設定」に進んでください。

アレイ構成を変更し、RAID EzAssist によりコンフィグレーション情報をリストアする場合は、WebUI よりサーバーをシャットダウンし、外していたハードディスクをセットします。その後、サーバーの電源を ON し、RAID EzAssist を起動してコンフィグレーション情報のリストアを行います。RAID EzAssist の操作及びコンフィグレーション情報のリストアの方法に関してはユーザーズガイドを参照願います。

17.4. 確認と設定

確認と設定のために以下の手順で iStorage NS に接続します。

① 管理 PC より WebUI にて iStorage NS に接続し、WebUI のプライマリナビゲーションバーの［メンテナンス］とセカンダリナビゲーションバーの［ターミナルサービス］を選択し、ターミナルサービスを起動する。

② administrator 権限を持ったユーザー名を用いて iStorage NS へリモートログオンします。

17.4.1 デバイスマネージャでの確認 ～SCSI/RAID ドライバの更新～

iStorage NS20/20P/800 では、本処理は必要ありません。

iStorage NS400/400P/600 では、以下の処理を行ってください。

ターミナルサービス画面から［ComputerManagement ］の［デバイスマネージャ］を起動し、SCSI and RAIDControllers を確認します。「SCSIController 」と表示されているところがある場合はドライバを更新してください。以下の手順で行います。

① デスクトップのマイコンピュータを右クリックして表示されるメニューから［Manage ］を選択し、起動した［ComputerManagement ］の［デバイスマネージャ］を選択する。
② ［SCSI and RAID Controllers ］を確認し、［SCSI Controller ］と表示されているところがある場合は、［SCSI Controller ］を選択後、右クリックからプロパティを開く。
③ ［ドライバ］タブをクリックし、[ドライバの更新] ボタンをクリックする。
④ 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。［次へ］ボタンをクリックする。
⑤ ［ハードウェア デバイス ドライバのインストール］ダイアログボックスが表示されます。［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨)］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする。
⑥ ［ドライバ ファイルの特定］ダイアログボックスが表示されます。［場所を指定］のみをチェックし、［次へ］ボタンをクリックする。
⑦ ［デバイスドライバのアップグレードウィザード］ダイアログボックスが表示されます。［製造元のファイルのコピー元］に「C:¥ WINNT¥ SYSTEM32 」を指定し、［OK ］ボタンをクリックする。
⑧ ［ドライバファイルの検索］ダイアログボックスが表示されます。［次へ］ボタンをクリックする。
⑨ ［ディスクの挿入］ダイアログボックスが表示されます。［OK ］ボタンをクリックする。
⑩ ［ファイルが必要］ダイアログボックスが表示されます。［コピー元］に「C:¥ WINNT¥ SYSTEM32 」を指定し、［OK ］ボタンをクリックする。
⑪ ［デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了］ダイアログボックスが表示されます。［完了］ボタンをクリックする。
⑫ ［SCSI Controller ］のプロパティダイアログボックスを閉じる。
⑬ 再起動の確認メッセージが表示されます。［NO］ボタンをクリックする。

17.4.2 デバイスマネージャでの確認 ～DVD/CD- ROM ドライバの更新～

［ComputerManagement ］の［デバイスマネージャ］で、［DVD/CD- ROM drivers ］を確認します。
(!)と表示されている場合はドライバを更新します。以下の手順で行います。

① ［ComputerManagement ］から［デバイスマネージャ］を選択する。
② ［DVD/CD- ROM drivers ］を確認し、(!)と表示されているところがある場合は、(!)を選択後、右クリックからプロパティを開く。
③ ［ドライバ］タブをクリックし、［ドライバの更新］ボタンをクリックする。
④ 「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が起動します。［次へ］ボタンをクリックする。
⑤ ［ハードウェア デバイス ドライバのインストール］項目が表示されます。［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨)］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする。
⑥ ［ドライバファイルの特定］項目が表示されます。［場所を指定］のみをチェックし、［次へ］ボタンをクリックする。
⑦ ［デバイスドライバのアップグレードウイザード］ダイアログボックスが表示されます。［製造元の

ファイルのコピー元］に「C:¥WINNT¥SYSTEM32 」を指定し、［OK ］ボタンをクリックする。

⑧　［ドライバファイルの検索］項目が表示されます。［次へ］ボタンをクリックする。

⑨　［デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了］項目が表示されます。［完了］ボタンをクリックする。

⑩　プロパティダイアログボックスを閉じる。

17.4.3　デバイスマネージャでの確認 ～不明なデバイスドライバの更新～

iStorage NS400/400P/600 では、本処理は必要ありません。

iStorage NS20/20P/800 では、［ComputerManagement ］の［デバイスマネージャ］で、［System Devices ］を確認します。「不明なデバイス」と表示されているところがある場合は、ドライバの更新を以下の手順で行います。

iStorage NS20/20P の場合

①　［スタート］－［プログラム］－［Administrative Tools ］－［Computer Management ］を起動して、［デバイスマネージャ］を選択する。

②　［System Devices ］を確認し、「不明なデバイス」 と表示されているところがある場合は、［不明なデバイス］を選択後、右クリックからプロパティを開く。

③　［ドライバ］タブにクリックし、［ドライバの更新］ボタンをクリックする。

④　「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。［次へ］ボタンをクリックする。

⑤　［このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする。

⑥　［NEC Baseboard Management Controller ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする。

⑦　［次のハードウェアデバイスのドライバをインストールします］ダイアログボックスが表示されます。［NEC Baseboard Management Controller ］を指定し、［次へ］ボタンをクリックする。

⑧　「Windows2000 DriverSet v1.00 上のファイル'necras.sys'が必要です」というメッセージが表示されます。

⑨　［参照］ボタンをクリックして、「C:¥WINNT¥System32¥drivers 」を指定してから［OK ］ボタンをクリックする。

⑩　［新しいハードウェアの検出ウィザードの完了］ダイアログボックスが表示されます。［完了］ボタンをクリックする。

⑪　プロパティダイアログボックスを閉じる。

⑫　再起動の確認メッセージが表示されます。［NO］ボタンをクリックする。

iStorage NS800 の場合

①　［スタート］－［プログラム］－［Administrative Tools ］－［Computer Management ］を起動して、［デバイスマネージャ］を選択する。

② ［System Devices ］を確認し、「不明なデバイス」 と表示されているところがある場合は、［不明なデバイス］を選択後、右クリックからプロパティを開く。

③ ［ドライバ］タブをクリックし、［ドライバの更新］ボタンをクリックする。

④ 「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が起動します。［次へ］ボタンをクリックする。

⑤ ［このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする。

⑥ ［デバイスドライバの選択］項目より［NEC Baseboard Management Controller ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする。

⑦ ［デバイスドライバのインストール開始］項目が表示されます。［次へ］ボタンをクリックする。

⑧ ［ディスクの挿入］ダイアログボックスで［OK］ボタンをクリックする。

⑨ ［ファイルが必要］ダイアログボックスで［参照］ボタンをクリックして、「C:¥WINNT¥System32¥drivers 」より necras.sys を指定してから［OK ］ボタンをクリックする。

⑩ ［ファイルが必要］ダイアログボックスで［OK ］ボタンをクリックする。

⑪ ［デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了］項目が表示されます。［完了］ボタンをクリックする。

⑫ プロパティダイアログボックスを閉じる。

⑬ 再起動の確認メッセージが表示されます。［NO］ボタンをクリックする。

さらに、**iStorage NS800** では、［ComputerManagement ］の［デバイスマネージャ］で、［SCSI and RAID controllers］を確認します。「不明なデバイス」と表示されているところがある場合は、ドライバの更新を以下の手順で行います。

① ［スタート］―［プログラム］―［Administrative Tools ］―［Computer Management ］を起動して、［デバイスマネージャ］を選択する。

② ［SCSI and RAID controllers］を確認し、「不明なデバイス」 と表示されているところがある場合は、［不明なデバイス］を選択後、右クリックからプロパティを開く。

③ ［ドライバ］タブをクリックし、［ドライバの更新］ボタンをクリックする。

④ ［デバイスドライバのアップグレードウィザード］ダイアログボックスで［デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始］項目が表示されます。［次へ］ボタンをクリックする。

⑤ ［ハードウェアデバイスドライバのインストール］項目の検索方法で［このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする。

⑥ ［デバイスドライバの選択］で “Adaptec AIC-7899 – Ultra160 SCSI” を選択し、［次へ］ボタンをクリックする。

⑦ ［デバイスドライバのインストールの開始］項目で［次へ］ボタンをクリックする。

⑧ ［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログボックスが表示されます。［はい］ボタンをクリックする。

⑨　［ディスクの挿入］ダイアログボックスで［OK］ボタンをクリックする。

⑩　［ファイルが必要］ダイアログボックスが表示されます。［参照］ボタンをクリックして、「C:¥WINNT¥System32¥drivers 」を指定してから［OK ］ボタンをクリックする。

⑪　［ファイルが必要］ダイアログボックスで［OK ］ボタンをクリックする。

⑫　［デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了］項目が表示されます。［完了］ボタンをクリックする。

⑬　プロパティダイアログボックスを閉じる。

⑭　再起動の確認メッセージが表示されます。［NO］ボタンをクリックする。

17.4.4　ディスク管理での確認 ～ドライブ文字の変更～

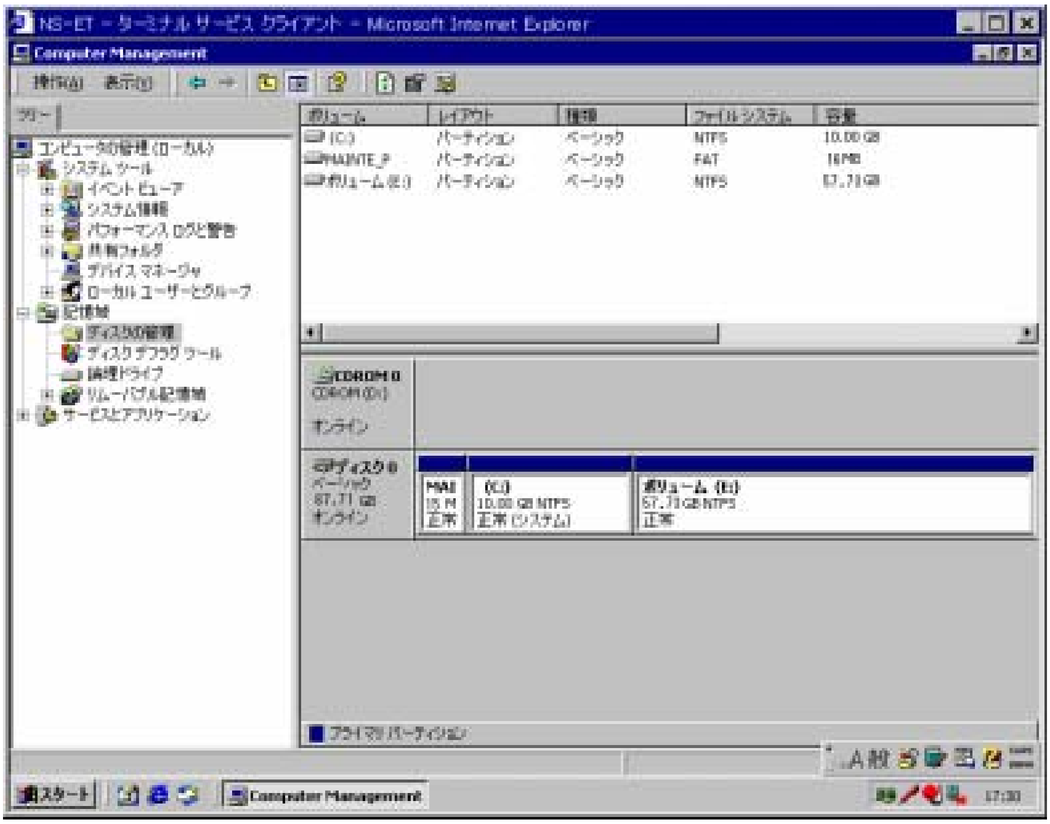
［Computer Management ］の［ディスク管理］でドライブ文字を確認し、必要に応じてドライブ文字を変更します。

［Computer Management ］の［ディスク管理］を選択します。そして、CD- ROM や各ディスクのボリュームに設定されているドライブ文字が以下の図の設定になっていることを確認してください。異なっている場合は、次の画面の設定となるように変更してください。

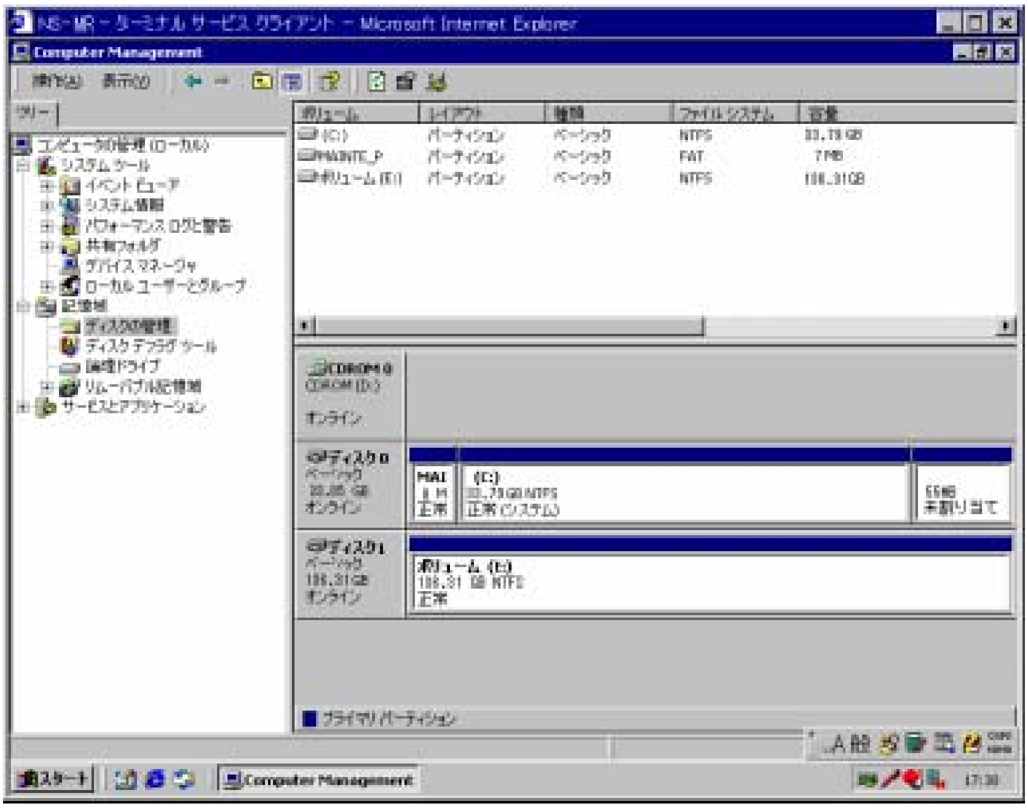
NS20/20P の場合



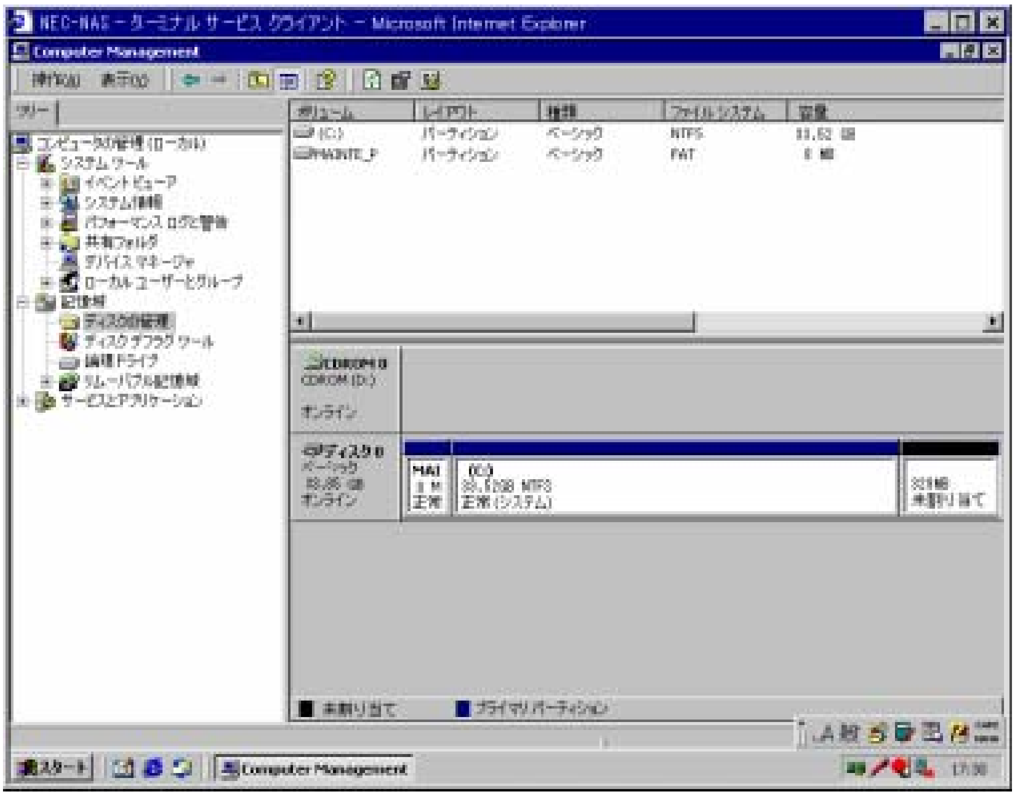
NS400/400P の場合



NS600 の場合



NS800 の場合



以上で完了です。［Computer Management ］を終了し、iStorage NS を再起動してください。

17.4.5　OS のミラーリング機能の設定

iStorage NS400/400P/600/800 では、本処理は必要ありません。

iStorage NS20/20P では、WebUI の「メンテナンス」–「ターミナルサービス」にて iStorage NS に接続した後、以下の手順でソフトミラーの設定を行います。

① [スタート] →[設定] →[コントロールパネル] →[AdministrativeTools] →[ComputerManagement]から、「記憶域」の下の「ディスクの管理」をクリックする。

② ディスク 1 が「不 明」の状態になっている場合、右クリックして[署名] をクリックする。

③ 署名するディスク(ディスク 1)を選んで[OK] をクリックする。「不 明」が「ベーシック」に変わります。

④ ディスク 0 で右クリックして、[ダイナミックディスクにアップグレード] をクリックする。

⑤ 「次のベーシックディスクをアップグレードします」で、ディスク 1 もチェックして[OK] をクリックする。

　　ディスク 0 (すでにチェックされている)

　　ディスク 1

⑥　アップグレードするディスクの一覧が表示されます。[アップグレード] をクリックする。

⑦　「アップグレードしますか？」と確認されます。[Yes] をクリックする。

⑧　「マウント解除します。続行しますか？」と確認されます。[Yes] をクリックする。

⑨　システムの再起動が開始されます。WebUI は残りますが、ターミナルサービスのウィンドウがなくなります。

⑩　WebUI が起動したら[メンテナンス]-[シャットダウン]を選択してもう一度再起動します。

⑪　起動後、WebUI のターミナルサービスにて iStorage NS に接続する。起動の確認には Ping コマンドなどを使用してください。

⑫　[スタート] →[設 定] →[コントロールパネル] →[AdministrativeTools] →[ComputerManagement]から、「記憶域」の下の「ディスクの管理」をクリックする。

⑬　「ディスクの管理」にて、C:で右クリックして、[ミラーの追加] をクリックする。

⑭　ディスク 1 をクリックして[ミラーの追加] をクリックする。(C:)のために、ミラー領域として使用するディスクに選択されます。これでブートボリュームをミラーしました。

ディスクミラーリング中には、他の操作は行わないで下さい。

⑮　ミラーディスクから起動できるようにするには boot.ini ファイルにエントリを追加します。[OK] をクリックすると、ミラーリングが開始されます。

⑯　ディスク 0 の残りのボリュームに関しても手順 11 、12 と同様の手順でミラーを行う。

⑰　ミラーリングが完了したら一度 WebUI から再起動を実行(*1)

(*1)１０分程度待っても再起動が行われない場合は、強制電源 OFF を行った後、再度、iStorageNS の電源の ON を行います。この手順は、ユーザーズガイドの POWER スイッチを参照願います。

以上で OS の再インストール手順は終了です。

最後に必要であれば、ハードウェア構成をバックアップ取得時の状態に戻し、バックアップしたデータをリストアします。リストアの手順は、管理者ガイドが掲載されたホームページ上で公開するシステム復旧手順書と BackupExec または NetBackup のマニュアル類を参照してください。